

教育センターだより

本年度の教育センタースローガン

教師の主体的・意欲的な学びをサポートし、
頼りにされる教育センター



令和3年に第4期香川県教育基本計画が策定されました。基本理念は「郷土を愛し、夢と志を持って自ら学び歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」です。この基本理念を共有し、その実現を目指して様々な教育現場、教育機関が教育活動に取り組んでいきます。

また、国においては令和3年11月『「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて（審議まとめ）』の中で、教師の資質・能力の向上に向けた新たな方向性が示されています。

このような現況において、直接的に学校・教職員を支援する教育センターの使命を今一度見直し、教師の主体的・意欲的な学びをサポートし、学校現場の役に立ち、頼りにされる行政機関であることを目指したいと考えています。

令和4年4月 香川県教育センター 所長 藪内康則

香川県教育センターの調査研究をご活用ください

令和4年度 調査研究事業【計画】

調査研究 1

今年度、教育センターが取り組む研究テーマです。

ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究《2年次》
以下の2つの視点について、1年次に収集した実践情報を活かし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた効果的な指導の在り方等について、さらなる改善案等を提案する。

- ① 情報活用能力の育成について ② 教科等の学習における効果的なICTの活用について



調査研究 2

全国及び香川県の学習状況調査の結果分析

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析(調査報告書等)を基に、学校現場の授業改善や教育課程の見直し等の取組を、研修サポートや研究相談等を通じて支援する。

令和3年度 研究発表会【報告】

YouTube **LIVE** 配信

教育センターでの集合型研修ではなくライブ配信で実施しました。オンラインによる発表にしたことで、香川県内に限らず県外からも数多くの方に視聴していただきました。



～ 調査研究発表 ～

ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、1人1台端末の活用を中心に、ICTをどのように活用すれば効果的なのか、そしてそのための土台をどう作るのか、香川県教育センター協力学校の実践を基に、提案しました。また、全国学力・学習状況調査の結果からうかがえる本県の児童生徒の状況等をお伝えし、ICTのあるなしに関わらず、これからの時代に求められる力を育成するための授業づくりについても考える機会となりました。

【視聴者感想】

- ▶ 「ICTを使っている」だけでなく、「教科の目標を達成させるためのICT活用」とは何なのかを考えさせられる研究発表でした。
- ▶ 本県においてもGIGA元年の今年度、模索しながらの一年でしたが、考え方や方向性に間違いはなかったと客観的に見つめ直す機会になりました。



研究発表冊子は、香川県教育センターWebサイトからダウンロードできます。
(教職員用IDとパスワードが必要)

～ パネル・ディスカッション ～

GIGAスクール元年を通して見えてきた成果と課題

協力学校の4校(高松市立林小学校、観音寺市立一ノ谷小学校、小豆島町立小豆島中学校、多度津町立多度津中学校)と、今年度の成果と課題について協議しました。どのような校内研修を行うことで教職員の意識が高まったのか、積極的にICTを活用することで見えてきた課題は何なのか等について、視聴者も含めて共有することができました。

【視聴者感想】

ICTが導入された目新しさによる子供の学習意欲の向上から、子供がICTを活用した授業に慣れてきたことに対して一歩踏み込んだ取組まで発表されており、これからどの学校も辿っていく、もしくは既に直面している課題だと感じ、とても参考になりました。



～ 講演 ～

(演題) 「教育は人を幸せにするためのもの」

文部科学省 国立教育政策研究所長 **浅田 和伸 氏**

子供は、それぞれが独立した人間であり、大人の思い通りになるものではない。それを理解した上で、子供たちの未来や幸せのためにどうあるべきかを、「教育の不易と流行」、「子供たちが生きる未来」、「これからの学校、これからの学び」などの視点から、様々な資料や文献を引用し、分かりやすく説明していただきました。また、教育において一番大切なのは、浅田先生のお言葉の、「教育は子供たちと社会の未来を創るものであり、一人一人の幸せな生につながるものでなくてはなりません」ということだと、改めて気付くことができたご講演でした。



【視聴者感想】

浅田先生の「子供が幸せになるための教育活動をしなくてはいけない」という想いに、はっとさせられました。忙しさのあまり、それぞれの子供に合わせた教育的配慮をやっていない自分がいました。様々な教育活動が全て、子供の幸せにつながるよう取り組んでいきます。



今年度の教育センターの事業をご紹介します。

令和4年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。



期 日	演 題	講 師（敬称略）
5/10(火)	災 害 共 済 給 付 事 務	日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
6/ 3(金)	子 供 た ち の ネ ッ ト 利 用	三 光 病 院 院 長 海 野 順
6/14(火)	「主体的・対話的で深い学び」のためにー非認知能力から考えるー	岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中山 芳一
7/28(木)	働き方改革と学校管理職のリーダーシップ	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口 健司
8/ 1(月)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	滋賀大学教職大学院 教授 大野 裕己
8/ 5(金)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長田 徹
8/19(金)	小学校国語の授業づくり-ICTを活用する時代の個別化とアクティブ・ラーニングの学習-	元文部科学省教科調査官 井上 一郎
8/24(水)	就学前における特別支援教育コーディネーター	香 川 大 学 教 授 小 方 朋 子
11/10(木)	特 別 支 援 教 育 （ 発 達 障 害 ）	香 川 大 学 教 授 坂 井 聡
1/ 5(木)	社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント	甲 南 女 子 大 学 教 授 村 川 雅 弘
8月～1月※	コ ロ ナ 禍 で 求 め ら れ る 教 師 の 役 割	文 教 大 学 教 授 会 沢 信 彦

※オンライン研修（オンデマンド型）による講演となります。

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
（令和3年度実績：418件）

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
（令和3年度実績：437件）

◆ 教育ライブラリー

[所蔵資料]（令和3年度末現在）

- ・教育図書 12,283冊
- ・研究紀要・論文等 16,749点
- ・教育雑誌 28種類
- ・視聴覚資料、各社の教科書 他

[閲覧・貸出等]

- ・開室時間 9:00～17:00（月～金）
9:00～16:00（土）
（ただし、土曜日は原則として13:00～14:00閉室）
- ・貸出冊数 1回につき5冊まで
- ・貸出期間 15日間

◆ Webサイト

学習指導案や調査研究報告書など、教育活動に役立つ資料を収集・作成し、情報提供します。
また、教職員研修を効率的・効果的なものにするため、オンライン研修事業を推進します。

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。

◆ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

令和3年度実績：

- 支援隊登録者数 347人
- 派遣校数 124校
- 派遣時間総数 7,027時間

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

- ・貸出時間 9:00～16:30（月～土）
（令和3年度実績：100団体 2,681人）

子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターにご相談ください！

教育相談課では、学校における教育相談活動を支援するために、次のような活動を行っていますのでご活用ください。

問い合わせ先 教育センター教育相談課 ☎ 087-813-0945

コンサルテーション

子どもや保護者とのかわり方や学校で行う指導・支援の在り方について、電話や来所での相談を受け付けています。



研修サポート

学校等が主催する、教育相談や特別支援教育、生徒指導に関する研修の講師を務めたり、ケース会議に参加したりしています。関係する資料の提供も行っています。



学校支援アドバイザーの派遣

学校支援アドバイザーが学校を訪問し、対応の難しい問題について解決の道筋を一緒に考えます。(公立小中学校対象)

かわたゆきお
川田行雄 アドバイザー
臨床心理士

ふじきわ 香ひね
藤澤 茜 アドバイザー
社会福祉士・精神保健福祉士

Web サイト

香川県教育センターの Web ページに掲載されています。

オンライン研修資料 (スライド) 教員研修にお使いいただけます。



「教育相談のいろは」 「コラム de 教育相談」 「子どもの自殺予防」



突然の災害や事故、事件に遭遇したり、何らかの強いストレスを受けたりした子どもたちのサポートのため、学校で活用していただくことを目的に作成したチェックリストです。

教育相談窓口のご案内

教育センターでは、子どもや保護者、教職員からの、学校教育・家庭教育に関する悩みの相談に応じています。以下の相談窓口をご活用ください。保護者にも、ぜひご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119

*相談時間 9:00~21:00(通年)

子育て電話相談

087-813-2040

*相談時間 9:00~21:00(通年)

24 時間いじめ電話相談

087-813-1620

0120-0-78310 (24 時間子供 SOS ダイヤル)

*相談時間 24 時間(通年)

子どものネットトラブル相談

087-813-3850

*相談時間 月~金曜日 9:00~17:00
(祝日・年末年始を除く)

来所相談

予約受付 087-813-0945

*相談時間 月~金曜日 9:00~17:00

第2、4土曜日 13:00~17:00

(祝日・年末年始を除く)

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp

FAX 相談

087-881-3272

*相談時間 24 時間(通年)

返信には時間がかかることがあります



香川県教育センター 相談窓口

香川 教育相談窓口 検索

教職員からのご相談・問い合わせ先

087-813-0945 (教育相談課)